

## 歯科衛生士学科 3つのポリシー

### ディプロマポリシー

歯科衛生士学科は、「目標を自ら定め、その達成に必要な知識や技術を常に高めようと意識して行動できる歯科衛生士を養成する」ことを養成目的としているため、卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 歯科医療現場で起こる様々な事象に自ら気づき、考えて行動できる
2. 実習授業や学校行事を通じて自らが目指す業界とのつながりを深める
3. 歯科衛生士国家試験に合格することで、必要とされる知識・技能を身につけている
4. 予防医療の普及や向上に他の医療従事者と連携して生涯にわたって携われる
5. 歯科衛生業務に対して責任感を持てる
6. 患者さんの立場になって行動できるコミュニケーション能力を身につけている
7. 医療従事者として、社会に貢献するマインドを身につけている
8. 上記のマインド、知識・技術について継続的にキャリア開発をし続けることができる

### カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーと「建学の理念」「4つの信頼」を達成するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した職業人教育のカリキュラムと、国際教育のプログラムを提供します。プログラムの柱を以下に示します。

1. 国家試験に合格し、歯科衛生士として活躍出来る知識・技術はもちろん医療・福祉現場で対応できる専門性を身に付けられる学びを提供します。
2. 産学連携による実習教育を通じて、医療人として必要な「身構え・気構え・心構え」およびコミュニケーション能力を身に付けます。
3. 確実に国家資格を取得し、卒業後のキャリア開発への向上心を持続するために、基礎学力の向上を図るプログラムと、自らで考え、自ら勉強する力を養う能動型の授業（アクティブラーニング等）を提供します。
4. キャリア設計の支援プログラムと国内国際性教育を中心とした国際人としての基礎プログラムを提供します。

### アドミッションポリシー

歯科衛生士学科は「歯科衛生士国家資格」を取得する強い意志と医療や福祉現場でも活躍する向上心を持ち、人と接する上で問題なくコミュニケーションを図れる以下のような入学者を受け入れます。

1. 「歯科衛生士」を目指す明確な動機を持ち、目標を達成するための努力ができる人
2. 医療・福祉分野の学びに取り組む基礎学力を持つ人
3. 基本的なコミュニケーション能力を持つ人